

フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

市町村名	木更津市				フッ化物洗口開始年度		未定
保育所数	0/13	幼稚園数	0/13	小学校数	0/18	中学校数	0/13

※実施施設数/全施設数（H19年3月31日現在）

【フッ化物洗口に関する前年度までの経緯】

市内全小学校の1年生を対象に口腔衛生指導を実施し、その際に歯磨剤を利用したフッ化物の応用について指導を進めてきた。また学校関係者にはフッ化物洗口の効果について、機会あるごとに話をしてきた。しかし、具体的にフッ化物洗口を事業として実施する方向での検討はしていなかった。

【推進体制づくりの経緯】

実施事項	具体的な内容	評価
関係機関との連絡調整	<p>郡市歯科医師会との調整（H18. 9. 4） 県からの通知文に基づき本事業の趣旨を説明し、将来的にフッ化物洗口を導入して8020運動の推進を図るという共通理解を図る。</p> <p>学校教育課との調整（H18. 9. 13） 県からの通知文に基づき本事業の趣旨を説明し、事業の進め方など共通理解を図る。</p> <p>学校関係者との調整 学校長会（H18. 12. 8）及び養護教諭部会（H18. 10. 6）において、本事業の趣旨を説明し、フッ素洗口研修会を開催することを伝える。</p>	<p>郡市歯科医師会 8020運動の一環ということで理解を得ることができた。</p> <p>学校教育課 むし歯の減少に効果が期待できるということで、理解を得ることができた。</p> <p>学校長会 時間の関係で概略のみの説明であったので、具体的なイメージがつかみきれていない印象であった。</p> <p>養護教諭部会 フッ素洗口の内容は理解しているものの、その効果よりも、安全性の問題や実施に伴う事務量の増加に危惧する声が聞かれた。</p>
研修会の開催と事業参加施設の募集	事業参加施設を選定する方法として、まずフッ素洗口について知識を深め理解をしてもらうことが先決と考え、小・中学校の歯科保健担当者を対象に、研修会を開催し、その研修を受けて実施可能か各施設で検討をしてもらうことで進	小学校2校の学校長より実施希望の意思表示あり。しかし、その後1校から、安全性が確定していないので、当面は見合わせると

市町村名 木更津市

	<p>めた。</p> <p>フッ化物洗口研修会開催（H19. 1. 23） 講師：日本大学松戸歯学部 小林清吾教授</p> <p>学校長会（H19. 2. 7）において、学校教育課から再度本事業の趣旨を説明し、実施希望学校を口頭で募集。希望校は期日までに学校教育課に連絡することとなる。</p>	<p>いう連絡を受ける。</p> <p>残る 1 校からも、安全性の心配があり、また具体的にフッ素洗口とはどのようなもので、どのくらい効果があるのかを知るため、先駆的に実施している学校を実際に見てから、今後について検討したいという連絡を受ける。その後、H19. 2. 23に学校長が新潟県弥彦小への視察を終え、その結果、今の段階では「実施する」という返事は出せないが、来年度以降に実施について、ゆっくり検討していきたい。という回答あり。</p>
--	---	--

【施設における取り組み内容】

※事業を実施した施設ごとに記載のこと

施設①		
実施事項	具体的な内容	評価

【問題となったこと・今後の課題とその対応について】

子ども達を預かる管理職（学校長）の立場としてネックとなっている点

「フッ素の安全性」が確定していない。（フッ素の危険性についての情報がたくさん流れており、少しでも不安のあることは、子ども達に実施するわけにはいかない）

実際に事業の中心となる養護教諭の立場としてネックとなっている点

食育・虐待・薬物など学校現場でやらなければならないことがどんどん増えている中で、これ以上新規のものを受け入れるだけの余裕がない。

市町村名 木更津市

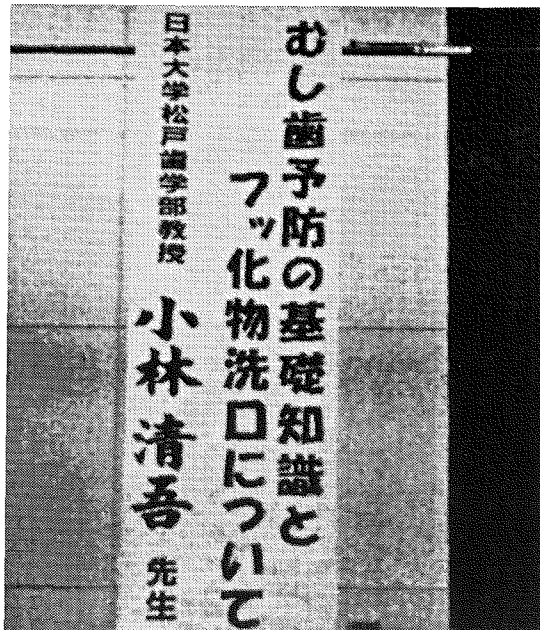
【19年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無】

平成19年度の予算化はしていない。

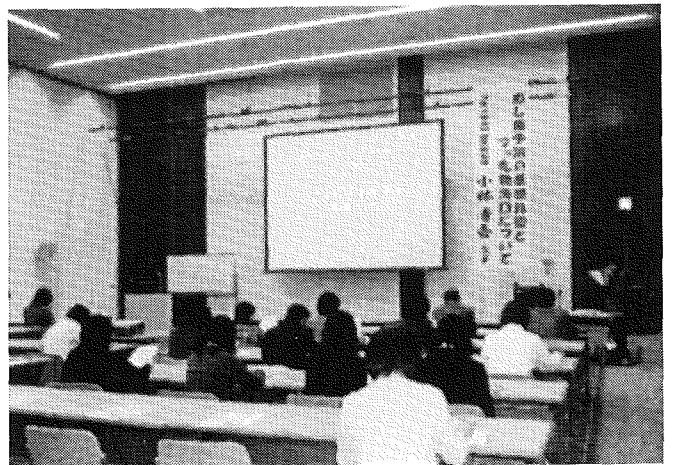
【活用した参考資料や文献 ※特に有効だったもの】

名称	概要	活用場面	費用や入手先等
「地方自治体におけるフッ化物利用に関する全国実態調査」	地方自治体におけるフッ化物利用に関する全国実態調査報告書	関係機関との連絡調整	県から各市町村に配布（H18.4）
※「フッ素洗口の手引き」	フッ素洗口の実施にあたっての手順等詳細説明	関係機関との連絡調整	新潟県歯科保健協会 700円

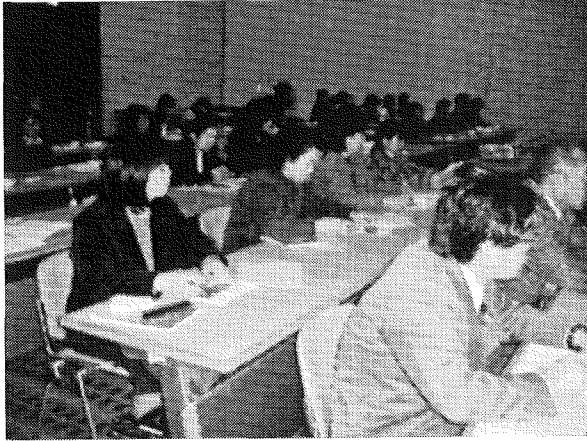
【記録写真等】



フッ化物洗口研修会
平成19年1月23日開催



市町村名 木更津市



研修会参加者
学校長・養護教諭・教育委員会職員
保健相談センター保健師
県事業担当 計38名

先生の合図で、参加者一斉にフッ素洗口液で
1分間うがいを実施

